

会議結果報告書

| | | |
|---|-----|--|
| 1 | 会議名 | 平成 30 年度第 1 回環境指導員地区会議（小和田地区） |
| 2 | 日時 | 平成 30 年 5 月 24 日（木）14：00～15：30 |
| 3 | 場所 | 小和田コミュニティセンター 第 1 会議室 |
| 4 | 出席者 | （資源循環課）添田主幹、下舞主事 （環境事業センター）篠田主幹、安齋担当主査、原田技能労務統括主査 （小和田地区）参加人数：16 人 |
| 5 | 内容 | <p>本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <p>●有料化は袋が有料になることを考えているのか、40L はどれくらいの大きさか。 →一般的には袋が有料になる自治体が多いがシールを袋に張る方式もある。45L のポリバケツに近い容量である。</p> <p>●剪定枝を燃やせるごみで出したらいくらくらいになるのか。また、どこが有料袋を扱う予定か、販売手数料は含まれている金額で検討をしているか。 →剪定枝は資源物として出せるか検討中である。一般的にはスーパーやコンビニで取り扱われていることが多い。販売手数料込みの金額で想定している。</p> <p>●戸別収集はいつから始まるのか、ごみが収集されなくて残された場合は環境指導員は何をすればいいのか。 →有料化の実施、戸別収集の実施についてはこれから行う自治会対象の意見交換会等の意見をもとに方向性を定めていく。現状として環境指導員の方は今までどおりの業務を行ってもらうことを想定している。</p> <p>●自治会に入っていない人に説明が必要では、私は有料化賛成で戸別収集も行ってもらいたいと考えている。 →貴重なご意見として承る。</p> <p>●予算のとり方が下手なのは、一人当たり年間 1,500 円の負担は痛い。 →貴重なご意見として承る。他の様々な事業に関しても、経費を要し高齢化社会においては関連の経費の増大が考えられる。有料化の手数料は基金として将来の施設整備に充当させて安定なごみ処理を継続するための経費として活用したい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |